

IBM Maximo Asset Management Essentials

特長

- 企業資産管理機能を中堅企業を対象として設計されたパッケージで提供
- 資産プロセスと作業プロセスをより効果的かつ効率的に編成、追跡、管理して、生産性とサービス品質を改善
- 業界最高レベルのテクノロジーとベスト・プラクティスに基づいた事前対応型の保守スケジュールを通じて、資産の信頼性とパフォーマンスを最適化
- 在庫管理機能や調達管理機能の合理化により、コストを削減
- 重要な資産管理プロセスやサービス管理プロセスを 1 つの統合ソリューションに集約
- Maximo Asset Management へのシームレスな拡張が可能であるため、将来の成長に対応でき、長期間にわたる投資収益率の増大を支援

どの企業にとっても、重要資産を管理することは非常に重要なビジネス機能です。これらの資産には、プロセス設備や研究、製造、オフィス、さらには倉庫などの施設が含まれる場合もあります。多くの中堅企業では、多くの場合、煩雑でエラーが発生しやすい手動プロセスを通じて資産管理を処理しています。ニッチ・ソリューションを通じて自動化していることもありますが、その場合も柔軟性と拡張性には限りがあります。IBM Maximo® Asset Management Essentials は、中堅企業が必要とする重要な機能を低価格で提供するため、大企業と同様の資産とサービス管理プラットフォームを活用できます。Maximo Asset Management Essentials は、小規模の企業（または大企業内の部門）に対して、資産プロセスと作業プロセスを編成、追跡し管理するために使用できるツールを提供します。競合ソリューションは企業の成長に応じて拡張することができませんが、Maximo Asset Management Essentials はシームレスに拡張可能であるため、長期間にわたって投資を保護できます。これにより、業界最高レベルのテクノロジーとベスト・プラクティスに基づいた保守管理を組織内で実施できます。

中堅企業と小規模な企業に数値化可能なメリットを提供

Maximo Asset Management Essentials は、中堅企業がその業務資産を資産ライフサイクル全体を通じてより効率的かつ効果的に管理できるようにする目的で設計されています。お客様に以下のメリットを提供します。

- 資産信頼性の向上と資産ダウン時間の短縮により、サービス品質を改善します。
- 資産データの単一のリポジトリを提供して、資産関連の意思決定を支援します。
- 事前対応型の資産保守により資産耐用年数を延ばすことができるため、投資収益率が増大します。
- 在庫管理プロセスや調達管理プロセスの合理化により、コストを削減します。
- リソース管理の改善を通じて、従業員の効率レベルを大幅に高めます。
- 紙ベースのプロセスの廃止と複数システムの統合の実現により、運用コストを削減します。



IBM Maximo Asset Management Essentials は、資産管理機能やサービス管理機能を幅広くサポートする単一の統一プラットフォームを提供します。

包括的な資産&サービス管理

Maximo Asset Management Essentials は、6つの重要管理プロセス（資産管理、作業管理、サービス管理、契約管理、在庫管理、調達管理）を1つの製品に集約した統合ソリューションです。これらのアプリケーションは、業界最高レベルのMaximo ソフトウェア・アーキテクチャーを活用して相互に連携することにより、お客様が資産と作業に関する重要データを収集し、保守およびサービスの計画を最適化できるように支援します。

資産管理

Maximo Asset Management Essentials の資産管理機能を利用すると、お客様は、資産ライフサイクル全体を通じて資産とロケーションのデータをより効率的に追跡および管理するために必要な操作を実行できます。これらの機能により、事前対応型の（事後対応型ではない）保守が可能になります。これにより、組織の生産性を最大限に高め、計画外のダウン時間を短縮し、資産耐用年数を延ばすことができるので、全体としてコストの削減とサービス品質の改善を実現できます。

作業管理

Maximo Asset Management Essentials の作業管理機能を利用すると、お客様は、計画保守アクティビティと計画外保守アクティビティの両方（初期の作業要求から作業指示書の生成を経て完了と記録に至るまで）を管理できます。作業計画担当者は、作業標準と予防保全スケジュールを作成し、作業タスクを使用可能なリソースと照合し、優先度を設定し、重要な保守アクティビティを追跡できます。

サービス管理

Maximo Asset Management Essentials のサービス管理機能を利用すると、組織内で一貫性のあるサービス管理プロセスを実施できます。これにより、エンド・ユーザーは、新しいサービス要求を発行したり、未処理のサービス要求を追跡し更新できます。チケット・テンプレートは、組織内のサービス要求プロセスの標準化に役立ちます。セルフサービス・オプションは、従業員の効率の改善に役立ちます。

IBM Maximo Asset Management Essentials アプリケーション

資産管理	作業管理	在庫管理	調達管理	契約管理	サービス管理
ロケーション 資産 故障コード 計測値 計測値グループ	作業指示書管理 クイック・レポート 作業員レポート 割り当てマネージャー アクティビティ とタスク サービス要求 作業標準予防保全 予防保全マスター	部品マスター 保管場所 在庫の出庫と移動 状態コード 在庫工具 工具 サービス項目	見積要求 受領 購買要求書 請求書 企業 注文書 契約条件	購買契約 主契約 保証契約 リース/レンタル 契約 作業員の支払単価 契約 契約条件	サービス要求 セルフサービス • 要求の作成 • 要求の表示 チケット・テンプレート アクティビティ とタスク
KPI / レポート作成 / 分析					
セキュリティおよび管理					
サービス指向アーキテクチャー・プラットフォーム					

IBM Maximo Asset Management Essentials は、業界最高レベルの Maximo ソフトウェア・アーキテクチャーを活用する 6 つの重要管理アプリケーションを集約します。

契約管理

Maximo Asset Management Essentials の契約管理機能を利用すると、組織内の販売元契約に対する管理機能が拡張されます。この統合契約管理システムは、購買契約、リース契約、レンタル契約、保証契約、作業員の支払単価契約、主契約を包括的にサポートします。また、契約条件機能を利用すると、標準化されたポリシーを組織全体でより一貫性を持って適用できます。

在庫管理

Maximo Asset Management Essentials の在庫管理機能を利用すると、資産関連在庫の可視性レベルを大幅に高めて、部品と資材、サービス項目、工具に関する詳細を表示できます。リアルタイムの在庫追跡とレポート作成は、在庫管理プロセスの合理化に役立ちます。過剰な在庫または不要な在庫を解消でき、在庫管理者が在庫計画を最適化できるので、コストを削減できます。

調達管理

Maximo Asset Management Essentials の調達管理機能は、直接購買や在庫補充を含む調達プロセスの各フェーズをサポートします。調達管理者は、要求書、見積、販売元、注文書、契約のための包括的な機能を活用して、購買の効率を改善でき、調達コストを削減できます。

資産データから有用な情報を生成

Maximo Asset Management Essentials は、6つの管理アプリケーションすべてに渡って、主要業績評価指標 (KPI) やその他のレポート作成と分析の機能も提供します。KPI を利用すると、重要な資産・サービス管理データを収集して、それを意味のある情報としてビューに表示できます。その後で、その情報を活用して、より適切な意思決定を行い、資産関連ビジネス・プロセスを最適化することができます。

投資価値の有効活用

Maximo Asset Management Essentials は、実装環境の機能を拡張するためのいくつかのアドオン・オプションを提供します。これを利用することで、お客様の組織内でプロセスの合理化、運用効率の向上、およびコストの削減をさらに推進できます。

- Maximo Enterprise Adapter を利用して Maximo Asset Management Essentials を他のアプリケーションと統合することで、より総合的な資産情報を参照できます。このツールは、Maximo Asset Management Essentials と他のビジネス・システム間の一般的な統合シナリオをサポートすることにより、システム間のリアルタイム・データ交換を単純化できるようにします。
- Mobile Work Manager と Mobile Inventory Manager は、Maximo Asset Management Essentials の作業および在庫データへのリモート・アクセスを提供します (接続状態でも切断状態でも利用可)。これにより、モバイル・ワーカーが行う作業量を増やし、非生産的なアクティビティを最小限に抑え、文書処理とデータ入力を減少させることができます。

- Microsoft Project Adapter は、Maximo Asset Management Essentials と Microsoft® Project の間の双方向接続を実現します。これにより、スケジュールリングと計画を行う Microsoft Project 内で、Maximo Asset Management Essentials の作業とリソース・データへの包括的なアクセスが提供されます。

シームレスに拡張可能

Maximo Asset Management Essentials は IBM Tivoli® ソフトウェア・ポートフォリオの一部であり、お客様の企業の成長に対応できるように設計されています。

Maximo Asset Management Essentials は、業界最高レベルの Maximo ソフトウェア・プラットフォームに基づいて構築されています。Maximo は、さまざまな最新のテクノロジー・インフラストラクチャーと統合できる標準ベースのオープン・サービス指向アーキテクチャーです。この基盤があるため、大企業向けの機能をすべて備えた Maximo Asset Management にシームレスなプロセスを通じてアップグレードできます。データのロードまたはアプリケーションのマイグレーションは不要です。このように簡単に拡張できるため、長期間にわたって投資を保護できます。

追加情報の入手先

お客様の組織が必要とする資産およびサービス管理機能を IBM Maximo Asset Management Essentials を利用して実現する方法について詳しくは、日本 IBM の営業担当員またはビジネス・パートナーにお問い合わせください。または、http://www.ibm.com/jp/software/tivoli/products/c6_asset.html をご参照ください。

IBM Tivoli ソフトウェアについて

Tivoli ソフトウェアは、可視化、コントロール、オートメーションの機能を提供することにより、組織が高品質のサービスを提供するためのサービス管理プラットフォームを実現します。

IBM Maximo Asset Management Essentials の概要

クライアント・ワークステーション要件:

ハードウェア

- Intel® Pentium® ベースのプロセッサ
- 512 MB RAM
- SVGA 1024 x 768 解像度

ソフトウェア

- Microsoft Windows® 2000 または Microsoft Windows XP
- Microsoft Internet Explorer 6.0 ブラウザー
- Microsoft Internet Explorer 7 ブラウザー
- Adobe® Acrobat Reader 6.0

管理ワークステーション要件:

ハードウェア

- Intel Pentium ベースのプロセッサ
- 1 GB RAM
- SVGA 1024 x 768 解像度 (アプリケーション・デザイナー用に使用する場合は 1280 x 1024)

ソフトウェア

- Microsoft Windows 2000 または Windows XP
- Microsoft Internet Explorer 6.0 ブラウザー
- Microsoft Internet Explorer 7 ブラウザー
- Adobe Acrobat Reader 6.0

アプリケーション・サーバー要件:

ハードウェア

- 2 個から 4 個の専用 800 MHz プロセッサ
- 各プロセッサに対して 2 GB RAM
- Maximo および Java™/Web Server コンポーネント用に 1.5 GB (またはそれ以上) のディスク・スペース

ソフトウェア

- Microsoft Windows 2000 Server
- Microsoft Windows Server 2003
- IBM AIX® 5.2 または 5.3
- Red Hat Enterprise Linux® 3 (x86 プロセッサ・ベース・システム)
- HP-UX 11i または HP-UX 11i v2 (PA-RISC プロセッサ・ベース・システム)
- Sun Solaris 9 または Sun Solaris 10 (SPARC プロセッサ・ベース・システム)
- IBM WebSphere® 6 (IBM Corporation が提供します)

注: WebSphere 6.0.x から 6.0.2.17 にアップグレードするには、IBM WebSphere フィックスパックおよびリフレッシュ・パック (IBM Corporation が提供します) を使用します。

- BEA WebLogic Server 8 (お客様がご用意ください)

データベース・サーバー要件:

ハードウェア

ハードウェア販売元の仕様文書を参照してください。

ソフトウェア

- IBM DB2 Universal Database 8.2.7、Workgroup または Enterprise Edition、TCP/IP サポート用に構成
- Oracle 9.2.0.6 または 10.2.0.2、Standard または Enterprise Edition
- Microsoft SQL Server 2000 SP4、Standard または Enterprise Edition
- Microsoft SQL Server 2005、Standard または Enterprise Edition



© Copyright IBM Corporation 2008
IBM Corporation Software Group
Route 100
Somers, NY 10589
U.S.A.

Produced in the United States of America
June 2008
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、AIX、DB2、Maximo、Tivoli、および WebSphere は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。

IBM の事前の書面による許可なく、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、複製、送信を行うことはできません。

製品データは、最初の発表日においてその正確性について確認されています。製品データは、予告なしに変更される場合があります。IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。これらは目標および目的を提示するためにのみ使用しています。

本書に記載された情報は、現状のまま提供され、明示もしくは黙示のいかなる保証も適用されません。IBM は、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項 (例えば、IBM Customer Agreement、保証の内容と制限、プログラムのご使用条件) に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で法規定を遵守しなければならないものとします。お客様のビジネスに影響を与える可能性がある関連法および法的要求事項の確認と解釈、並びにかかる法を遵守するためお客様がとる必要のある措置に関して、弁護士の適切な助言を得ることはお客様のみにかかわる責任とさせていただきます。IBM は法律上の助言を提供することはいたしませんし、また、IBM のサービスまたは製品が、お客様においていかなる法を遵守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

TAKE BACK CONTROL WITH Tivoli.